

# 表とグラフで見る令和2年度 予算案の概要

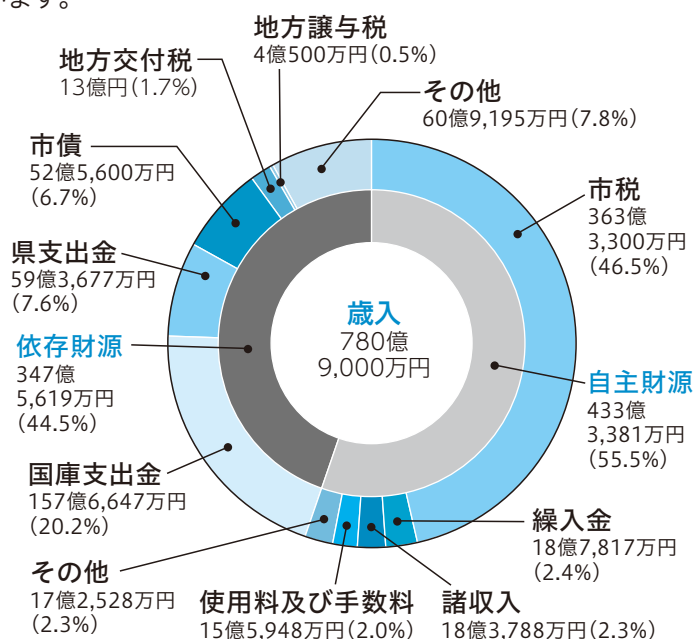
令和2年度の予算案の規模は、一般会計780億9,000万円で、令和元年度と比べ6億5,000万円(0.8%)増を見込みます。

※以下の数値は端数処理などを行っているため、実際の数値と若干の違いが生じる場合があります。

## 一般会計歳入

自主財源は、その中心を占める市税は令和元年度と比べ1億3,700万円の増を見込みましたが、財産収入の減などにより、歳入全体としては、6億3,440万円の減を見込んでいます。

市税のうち、個人市民税は給与所得の増などから元年度と比べ1.2%増、法人市民税は税制改正による税率引き下げなどにより18.7%減を見込んでいます。また、固定資産税は家屋分の増収が見込まれることから2.2%増、市たばこ税は健康志向の高まりにより5.1%減を見込んでいます。



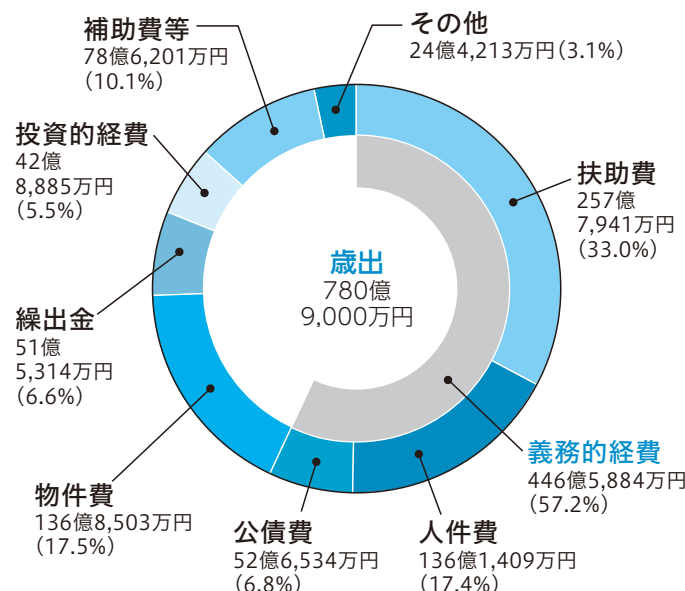
項目	令和2年度	令和元年度	増減
自主財源	433億 3,381万円	439億 6,821万円	6億3,440万円 (元年度比1.4%) 減
市税	363億 3,300万円	361億 9,600万円	1億3,700万円 (元年度比0.4%) 増
個人市民税	159億 4,910万円	157億 5,240万円	1億9,670万円 (元年度比1.2%) 増
法人市民税	15億 7,090万円	19億 3,220万円	3億6,130万円 (元年度比18.7%) 減

## 一般会計歳出

歳出を性質別にみると、義務的経費(扶助費、人件費、公債費)が令和元年度と比べ39億7,964万円増加し、歳出全体に占める割合は57.2%になると見込んでいます。

扶助費については、児童扶養手当支給事業等が減少するものの、保育所等施設型給付事業、保育サービス利用助成事業等が増加することにより、元年度と比べ6.1%増、人件費については、会計年度任用職員制度の創設などにより、12.0%増、公債費については、渋谷土地区画整理事業特別会計を一般会計に統合することにより、24.5%増を見込んでいます。

また、投資的経費(建設事業)は、中央林間駅周辺まちづくり事業、中学校防音設備整備事業等が増加するものの、小学校防音設備整備事業、北大和小学校増築事業等が減少することにより、元年度と比べ26.2%増(15億2,439万円)減を見込んでいます。



項目	令和2年度	令和元年度	増減
義務的経費	446億 5,884万円	406億 7,920万円	39億7,964万円 (元年度比9.8%) 増
扶助費	257億 7,941万円	242億 9,256万円	14億8,685万円 (元年度比6.1%) 増
人件費	136億 1,409万円	121億 5,839万円	14億5,570万円 (元年度比12.0%) 増
公債費	52億 6,534万円	42億 2,825万円	10億3,709万円 (元年度比24.5%) 増

# 令和2年度 予算案のポイント

もうすぐ新年度がスタートします。今号では、令和2年市議会第1回定例会に提案している令和2年度予算案の概要と主な事業を紹介します。

〒市役所財政課財政係 ☎(260) 5324 FAX (261) 4592

## 予算編成の基本的な考え方

一般会計予算案は、時代の先を見据えながら、持続可能な財政運営の理念に基づき「健康都市やまと」の実現をさらに深化させる施策を盛り込んだものとなっています。引き続き待機児童解消のための認可保育所等の定員増や中央林間駅周辺整備、防災・減災に向けた安全・安心なまちづくり、市民の交流や企業活動支援に関する事業など、「人」「まち」「社会」の健康をさらに推進していきます。

## 健康都市やまと

### 人の健康

誰もが年齢にかかわらず  
生き生き暮らせる  
まちづくりなど



### まちの健康

安全と安心が確保された  
快適な環境や  
都市空間を備えた  
まちづくりなど



### 社会の健康

豊かな心や  
感動、活力に満たされた  
まちづくりなど

